

## 警察署協議会会長連絡会議録

開催年月日時	令和7年2月27日 午後1時15分 から 令和7年2月27日 午後3時20分 まで	
開催場所	福岡県警察本部6階講堂	
出席者	公安委員会	委員長以下 5名
	警察署協議会	各警察署協議会会長等 35名
	警察本部	本部長、総務部長、警務部長、生活安全部長、 地域部長、刑事部長、暴力団対策部長、交通部長、 警備部長、総務課長
議 事 概 要		
<p><b>【第一部】</b></p> <p><b>〈公安委員長挨拶（要旨）〉</b></p> <p>平素から各警察署協議会の運営に格別の御尽力を賜り、厚く御礼申し上げます。 地域の安全・安心なまちづくりのためには、その地域で実際に生活されている方等の「生の声」をいただくことが極めて重要である。</p> <p>先日開催された警察署長会議においても、地域の方々からの御意見・御要望を踏まえた業務運営に十分配慮していただくようお願いした。</p> <p>公安委員会としても、警察署協議会の活動報告や御意見等を今後の活動に生かすとともに、本年も警察署協議会に積極的に出席したいと考えている。</p> <p>今後とも、警察署の運営への御支援をお願いします。</p> <p><b>〈警察本部長挨拶（要旨）〉</b></p> <p>悪天候により直前に会議を順延し、時間の調整等していただき、また、日頃から警察活動に対して御理解と御指導をいただき、御礼申し上げます。</p> <p>警察署協議会は、警察署長が警察署の業務運営を行う上で、その地域の皆様の御意見を反映させるための極めて大切な機関である。</p>		

議 事 概 要

貴重な御意見が様々な警察活動に生かされているだけでなく、自治体や関係機関を動かす力となっており、皆様の御努力、御意見に心から感謝申し上げます。

県警察としては、運営指針に基づいて、今年も県民の皆様が安心して暮らせるように地域社会の安全に向けて全力で取り組んでいるところである。

他方で、技術革新が進み、社会の価値観が多様化し、こうした変化は社会を良い方向に導くだけでなく、これまでになかった治安上の脅威を生み出す元凶にもなる。

県警察では、新たな技術や社会動向をしっかりと吸収して、治安に与える影響を分析し、警察活動に反映させる必要がある。

警察署協議会は、地域と警察をつなぐ架け橋として、引き続き地域での御意見・御要望を各警察署に寄せていただければと思う。

今後の警察署協議会の円滑で有意義な運営に資することができるように、今回の会議を貴重な意見交換の場にしていただきたい。

〈警察本部報告〉

**1 令和6年中の治安概況及び令和7年福岡県警察運営指針等について（警務部長）**

- (1) 令和6年中の治安概況について
- (2) 令和7年福岡県警察運営指針等

福岡県警察運営指針及び活動重点

**2 SNS型投資・ロマンス詐欺予防対策について（生活安全部長）**

- (1) 手口、被害状況、被害の特徴及び主な予防対策
- (2) 国際電話着信拒否対策について

〈質疑応答等〉

○ 若松警察署協議会会長から、「北九州市小倉南区における中学生被害の殺人事件について、被害者は、暴力団対策に携わる警察官の親族であるとの誤った情報がSNS上で拡散される等していた。私が危惧するのは、虚偽の情報に惑わされて全国の暴力団対策に携わる警察官がその業務について気後れしないかということについて伺いたい。」旨の質疑があった。

○ 暴力団対策部長から、「暴力団対策に携わる捜査員だけでなく、その家族に対

議 事 概 要

しても必要により保護対策や各種警ら等を実施している。虚偽の情報が拡散されることで暴力団対策に悪影響が出ることはないので、今後も御協力をお願いします。」旨の回答があった。

- 警察本部長から、「北九州市小倉南区における中学生被害の殺人事件について、SNS上では、なぜ警察は防犯カメラの映像を公開しないのか、警察の関係者が犯人だから隠しているのではないかなど、様々な流言飛語が飛び交った。それに対して全て回答すると、かえって混乱を招きかねない。我々は、事件捜査を通じて、検挙をして証明する。SNSの情報については、内容に応じてしっかり見ていく必要があると考える。」旨の発言があった。

- 中央警察署協議会会長から、「警察学校の隣にある平尾中学校の学生が警察学校に体験入学し、その体験を通じて将来警察官になりたいと考える学生がいると聞いた。警察学校が住民や子どもたちと接点を持ち、警察業務への理解を得るという大切さを実感した。

また、福岡県競争入札に関して、各企業が申請手続を行うが、参加資格審査に関する社会貢献活動の評価項目について、飲酒運転撲滅宣言企業への登録がある。飲酒運転撲滅宣言企業に登録されると、ポスター、ステッカーが配付され、社員等がそのポスター等を見ることで、飲酒運転撲滅気運の高揚につながると考える。ぜひとも飲酒運転撲滅気運の高揚に御尽力いただくようお願いします。」旨の発言があった。

**【第二部】**

**〈警察署協議会活動報告〉**

**1 宗像警察署協議会の活動報告（宗像警察署協議会会長）**

- (1) 警察と協働した見守り活動について
  - ア 活動の経緯
  - イ 警察署協議会での提案
  - ウ 効果、反響等
- (2) 地元開催行事に関する警察業務への理解について
  - ア 地元開催の各種行事

議 事 概 要

イ 各種行事に対する警察の対応についての説明

ウ 協議会委員からの感想

(3) 質疑応答等

○ 地域部長から、「地域の方と警察が協働した見守り活動について、次世代を担う子どものかげがえのない命を守る安全対策としてとても重要である。季節や環境の変化により通学路の交通情勢も変化しており、見守り活動の在り方、危険性の有無の把握等、地域の方からの情報提供が重要と考える。協議会で問題提起をされたことは、今後の効果的な活動につながる好事例である。」旨の発言があった。

○ 門司警察署協議会会長から、「当協議会においても、関門海峡花火大会開催における雑踏警備を門司警察署、機動隊、大会運営委員等で行い、スムーズに観客を誘導することができたとの報告を受けた。」旨の発言があった。

**2 戸畑警察署協議会の活動報告（戸畑警察署協議会委員）**

(1) 交通安全教育に関する要望事項について

ア 協議会委員からの要望

イ 活動内容

ウ 効果、反響等

(2) 高齢者施設見学について

ア 施設見学の経緯

イ 見学結果

ウ 高齢者対策への理解

(3) 質疑応答等

○ 交通部長から、「地域の幅広い年齢層の方が一堂に会する祭りにおける広報活動、交通安全教育は非常に有効である。体験型の交通安全教育を行い、飲酒運転撲滅気運の高揚につながる好事例である。県警察としては、引き続き検挙と抑止の両面から諸対策に取り組んでいく。また、高齢者の関わる交通事故は全国的に増加しており、高齢歩行者に対しては、道路を横断する際の危険性や反射材の有効性の広報を行い、運転者に対しては、加齢からくる身体機能の変

議 事 概 要

化を自覚してもらうことが交通事故抑止につながると考える。今後とも、交通事故抑止、飲酒運転撲滅に向けて全力で取り組むので、引き続きお力添えをお願いする。」旨の発言があった。

- 大牟田警察署協議会会長から、「高齢者が孤立しないよう高齢者対策の重要性を指摘されているが、協議会として具体的にどのような高齢者対策等を行うのか伺いたい。」旨の質疑があった。
- 戸畑警察署協議会委員から、「当協議会には、管内企業の方等が在籍されており、企業が開催するイベント、各種会合等に出席する際、警察署から出前講座をしていただく等考えている。」旨の回答があった。
- 南警察署協議会会長から、「南警察署管内には、大学等の学校が多く、自転車運転マナーに関する苦情や自転車事故の多さが問題であった。自転車対策に関する協議会委員の関心は高く、取締り等の要望をしていたところ、南警察署に自転車対策専門チームが発足し、一定の効果を挙げているようだ。引き続き警察署への積極的な働きかけを行う。」旨の発言があった。

**3 豊前警察署協議会の活動報告（豊前警察署協議会副会長）**

(1) 警察と協働した児童虐待防止等広報活動について

- ア 豊前警察署と協働したオレンジリボン・児童虐待防止キャンペーン
- イ こども・女性自立支援事業についての講話
- ウ 効果・反響等

(2) 協議会会長による能登半島地震派遣と派遣結果報告

- ア 協議会会長の災害派遣
- イ 協議会での派遣結果報告
- ウ 結果

(3) 質疑応答等

- 警備部長から、「警察では平素から犯罪抑止や児童虐待防止等に向けた各種広報活動に取り組んでいるが、地域住民の方々と協力して取り組んでいくことがより効果的な活動につながると考える。また、県警では、昨年1月から6月まで延べ約500人の警察職員を被災地に派遣し、救出救助活動や治安維持活

## 議 事 概 要

動を行った。今後も、警察などの救助部隊と医療機関の方々が密接に連携をしていくことが大変重要であると考えている。」旨の発言があった。

- 小倉南警察署協議会会長から、「特にキャンペーンの際に配付した「ぼうしパン」の取組がとても良い施策と感じた。北九州市小倉南区における中学生被害の殺人事件について、検挙に至るまでの間、少年補導員、民生委員等多くの団体が通学路の見守り活動等にあたり、二次被害防止に力を注いだ。犯罪予防に限らず、地域との連携が大切であると協議会委員で共有した。豊前警察署協議会の活動を今後の参考とさせていただき、地域との連携を実行しなければならぬと感じた。」旨の発言があった。

### 4 公安委員講評

#### (1) 堀内委員

宗像警察署協議会の活動について、協議会から警察に対して要望がなされ、警察と連携し迅速に対応したことで、安全な通学路の確保につながったことは、まさに協議会の設置の趣旨である住民の生の声を理解して警察業務に反映するというものに沿っており、模範となる活動である。また、警察幹部から協議会委員に対して警察業務の説明が行われたという報告があったが、その取組により、住民の安心や警察業務への理解につながっていると感じた。

#### (2) 伊藤委員

豊前警察署協議会の活動について、報告された活動以外にも家庭と仕事を両立する女性警察職員の話聞くなど、協議会で行われたと伺っている。また、能登半島地震における救助活動について、医療機関との連携により福岡県警から派遣された警察官が高齢女性を救出しているが、日頃から厳しい訓練に身を置いた積み重ねによるものであると思う。

#### (3) 高田委員

戸畑警察署協議会の活動について、主体的な取組と感じた。内容も福岡県全体の課題となる飲酒運転について地域のイベントを利用し、住民に対して交通指導を行い、また、認知症等の高齢者への理解を深めるために協議会委員が高齢者施設を見学するなど、現在の大きな課題に応じた的確な活動を行っていると感じ

(A 4)

議 事 概 要

た。

(4) 山本委員

協議会は、地域の声を警察業務に生かすということで、それぞれの地域の課題に応じて、警察からの報告を聞いたり、警察に地域の要望をあげることが多いと思うが、本日各署からの報告を伺い、協議会委員が実際に行動し活動を行うことが大切であると感じた。

(5) 権頭委員長

警察署協議会は地域と警察を結ぶ懸け橋ということで、協議会委員の活動に敬意を表す。地域の安全・安心を守るため必要なことは、地域、家族の結びつきであるが、その結びつきが希薄になることから様々な問題、課題が生じていると思う。地域住民の顔の見える関係づくり、つながり作りが大切であり、先ほどの御報告で地域での見守り活動、イベントを通じて警察活動への協働等を知ることができた。地域の中には街のことを思い活動している団体等が数多くある。協議会とその団体等との協働は、警察と地域を結ぶという意味から必要であると考え、この会を通じて得た良いところは共有し、有意義な場を多く作っていただきたい。

5 全体質疑等

- 中央警察署協議会会長から、「令和5年12月から安全運転管理者による運転前後の酒気帯びの有無の確認業務に関して、アルコール検知器の使用が義務化された。飲酒運転が増えている現実を打開するため、企業等に協力を得ることやアルコール検知器の使用義務化を徹底させることが大切と考える。」旨の発言があった。
- 警察本部長から、「今年は区切りの年であり、昭和100年という節目の年、阪神・淡路大震災発生から30年、地下鉄サリン事件から30年である。飲酒運転による痛ましい大きな交通事故があっても、我々が努力しないと時間が経過するとともに風化する。警察刷新会議発足から24年であり、来年は警察署協議会が設置されて25年目にあたる。25年前には、埼玉県における桶川ストーカー事件、栃木県における石橋事件等が発生し、警察の信頼を失うこととなった。警

(A4)

議 事 概 要

察を刷新するということで、2000年に警察刷新会議が警察庁に設けられ、その中の大きな柱のひとつが警察署協議会である。民意が十分反映されていない、警察が唯我独尊に陥った結果で、痛ましい事件が発生した反省から警察署協議会が設けられた。25年経過すると、今の若い警察官は制度として警察署協議会があるとしか理解していないかもしれない。私たち自身が警察署協議会の大切さを自分たちの後輩に伝えていきたいと思う。本日参加されている協議会委員の皆様も、些細なことでも警察が気づかないこと、住民目線でぜひ提案していただきたい。また、我々としては、ぜひ皆様には警察を愛していただきたい。場合によっては愛のムチという言葉もあるとおおり、愛しているからこそ警察に足りないところがあればぜひ警察に言っていただくことが、愛の一つだと考える。ぜひそういう意味での愛を持って警察を見守っていただきたい。」旨の発言があった。